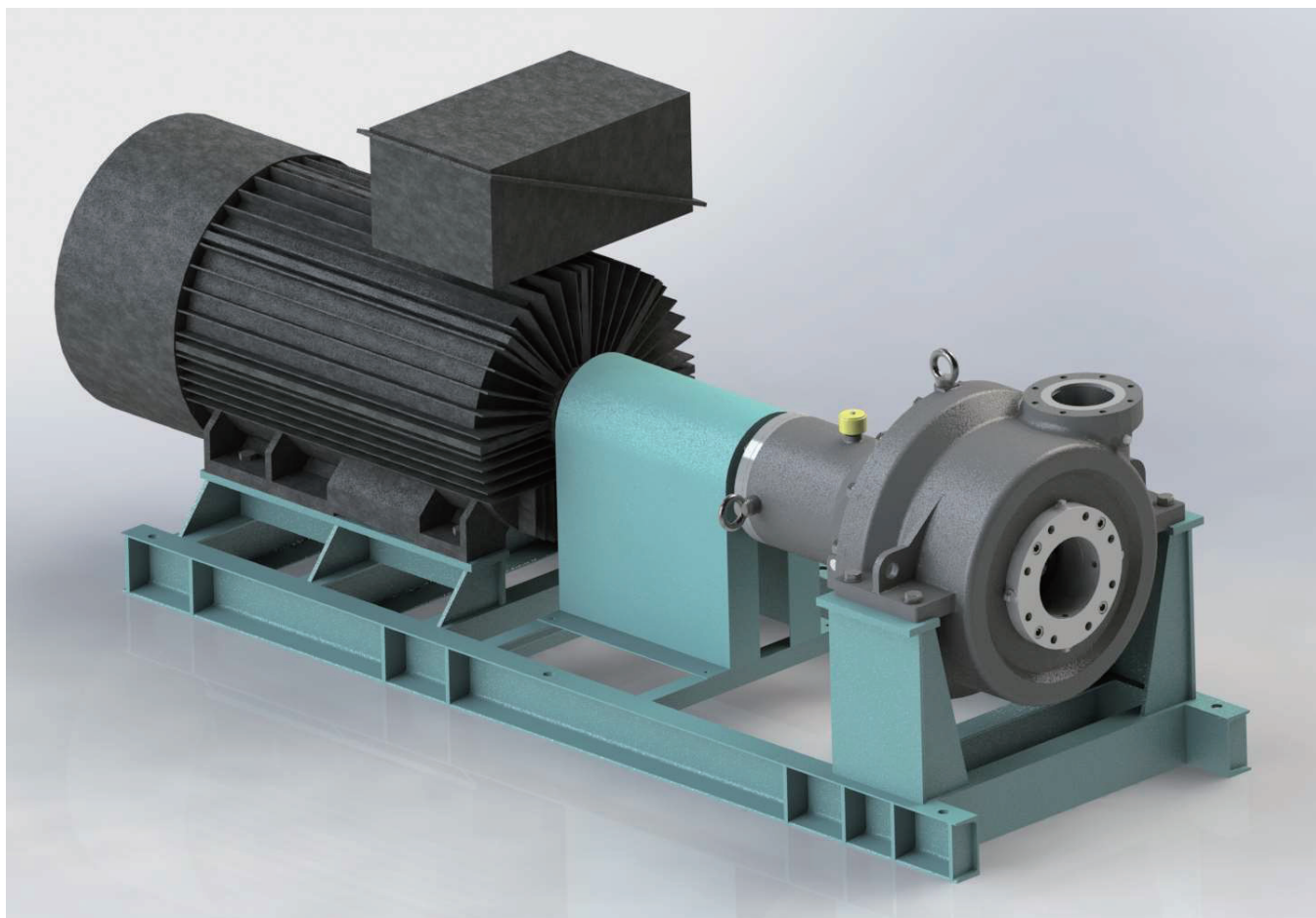




高密度流体対応スラリーポンプ

LMP



用途 掘削工事に用いられる高密度スラリー流体移送用ポンプ等

仕様

使用可能流体	清水、スラリー流体（高密度流体にも対応可能）
吐出し量 / 全揚程	330 ~ 520 m ³ /h / 40 ~ 60 m（流体密度：max 2500 kg/m ³ ）
設計圧力	max 1.8 MPa
使用温度	max 80°C
モータ仕様 （清水運転時）	150kW、1800min ⁻¹ （60Hz × 4P） （ご使用条件により、モータ出力が変わりますので別途ご相談願います）
フランジ規格 （吸込 × 吐出し口径）	ANSI 150Lb FF 200A × 150A（ASME/ANSI B16.5-2003準拠） （ご使用条件により、JIS 10Kに対応可能）

大晃機械工業株式会社

ポンプ構造

主要部材質

(非接液部)

外部ケーシング:FCD450

ケーシングカバー:FCD450

(接液部)

内部ケーシング:高クロム鋳鉄

インペラ:高クロム鋳鉄

シャフト:SCM440

基本構造

- 耐圧容器となる外部ケーシングと流路形成を行う内部ケーシングの2重構造
- 流路が閉塞しにくいセミオープンインペラ
- スラリー流体に対応した特殊軸封部品
- 高密度流体の負荷に対応した堅牢な軸受構造

製品特長

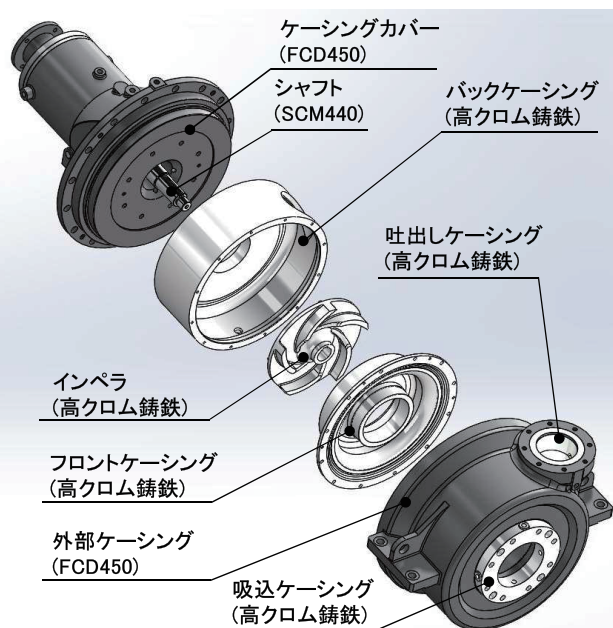
摩耗に対する高い耐久性

- 接液部品(内部ケーシング、インペラ)に耐摩耗性に優れた高クロム鋳鉄を使用
- 高スラリー環境の悪条件下でも高い信頼性を実現したダブルメカニカルシール方式を採用
- 接液側メカニカルシールは、耐スラリー性を重視した専用設計を実施
- 実液評価により、接液部品と軸封部品のスラリーに対する実際の高耐久性を確認

メンテナンス性を考慮した構造

- ポンプ本体を配管から取り外さずに内部ケーシングの交換可能
- 交換部品(内部ケーシング、インペラ、軸封部品、軸受)をユニット化、バックプルアウト構造によりユニット一式で交換可能

2重ケーシング構造概略



実液評価設備



(上) 本製品開発で使用した実液評価設備

(左) 実液運転で使ったスラリー流体 (掘削工事向け高密度スラリー流体)



本製品開発は、日本財団/日本船用工業会主催「H28/29.新製品開発助成事業」に採用されました

大晃機械工業株式会社

〈お問い合わせ先〉 研究開発部

〒742-1598 山口県熊毛郡田布施町大字下田布施 209-1
TEL: 0820-52-3211 FAX: 0820-53-1002

本社工場

ISO9001

〒742-1598 山口県熊毛郡田布施町大字下田布施209-1

TEL: 0820-52-3111(代) FAX: 0820-53-2127

E-mail: g-afair@taiko-kk.com

東京支店

ISO9001

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-38 いちご九段ビル6階

TEL: 03-3221-8551(代) FAX: 03-3221-8555

E-mail: tokyo-br@taiko-kk.com

大阪支店

ISO9001

〒541-0048 大阪府大阪市中央区瓦町3-4-7 KCビル8階

TEL: 06-6231-6241(代) FAX: 06-6222-3295

E-mail: osaka-br@taiko-kk.com

<https://www.taiko-kk.com/>

